

A

問十二

問十一

問十

問九

問八

問七

問六

問五

問四

問三

問二

問一

—

解答例

ら	ム	そ	自
。	へ	の	分
	の	克	の
	疑	服	感
	問	に	情
	や	向	で
	違	け	は
	和	た	な
	感	意	く
	に	気	外
	つ	込	か
	い	み	ら
	て	を	の
	考	重	課
	え	視	題
	な	す	を
	く	る	意
	な	シ	識
	る	ス	し
	か	テ	、

根性

解答例

気	す	克
込	一	己
み	方	は
を	、	現
指	克	実
す	己	に
。	心	自
	は	分
	自	に
	分	打
	に	ち
	打	克
	ち	っ
	克	て
	と	い
	う	る
	と	状
	す	態
	る	を
	意	指

イ オ ア ウ イ エ

a	カ	え	あ
エ	簡潔	いしゆく	ほんよう
b	キ		
イ	暇	お	い
c	ク	せんだつ	そ
ア	顧客		(れ)
d	ケ		う
オ	概 (お)		おっけん
	コ		
	削 (いだ)		

※「せんだち」も可。
※「おっけん」も可。

国語解答用紙 A

評点
一

受番	験号
学部	
番	

国語解答用紙 B

受番	験号
学部	
番	

二

問一

①	ざり
②	ける
③	なら

問二

掛詞	つとめて	意味 ¹	勤行 または 仏道修行	意味 ²	早朝
掛詞	くるる	意味 ¹	物をくれる	意味 ²	暮れる

問三

イ
ア
ロ
ウ
ハ
ウ

問四

亭子の帝のような高い身分の人。

問五

こ	白
と	女
。	の
	詠
	ん
	だ
	歌
	が
	『
	古今和歌集
	』
	に
	入
	集
	し
	た

問六

「とりかひ」
と「い」
うことばを
読み込んだ
歌。

問七

ウ

問八

な	霞
貴	で
所	は
に	な
昇	い
り	私
ま	も
し	お
た	召
。	し
	に
	よ
	り
	帝
	の
	お
	側
	の
	よ
	う

問九

解答例
命だけでも心のままになるならば、どうして別れがつらくありませんか。

問十

ア
エ

問十一

古今著聞集
沙石集
など

B

評点	二

国語解答用紙 C

受番	験号
学部	
番	

三

問一

① 熟知・成熟など

② 交易・貿易など

③ 釈放・保釈など

問二

a ゆ (く)

b もと(より)

c のみ

問三

(1) いやしくも

解答例
(2)

もし小鳥が東に飛び立ったならば、ハヤブサはその日は東に追いかけない。

問四

延
其
、
去
焉

問五

解答例

ら	ヤ	鳥
れ	ブ	類
た	サ	は
か	に	獲
ら	は	物
。	恩	を
	義	捕
	に	る
	報	こ
	い	と
	よ	し
	う	か
	と	知
	い	ら
	う	な
	意	い
	志	の
	が	に
	感	、
	じ	ハ

問六

イ

評点
三

C